

サネット 「安全こそが品質」 向上に向けて邁進

サネット（笠間謙一社長、神奈川県海老名市）は平成17年にGマークを同21年にグリーン経営認証を取得している。全車両を低公害車にし、エコドライブや地域清掃など環境保全にも取り組んでいる。

エコドライブにはドライバーを外部講習に参加させ、ドライバーの3分の2が修了し、今は全員の受講を目指している。笠間社長は「講習に行って気がつくことがあるようで、非常にいい効果だ」と話している。

普段の取り組みは各班での少集団活動で進められている。毎月のリーダーミーティングでは、各グループで排ガスの色とタイヤチェックを行っている。同社では1車1人と1車2人の仕事があるので、燃費は車両と人で分けて出している。そして出てきた結果を参考に毎月、各班で安全と環境に関するテーマを決めて取り組んでいる。

年に一度は、燃費の成績とデジタループを表彰する制度もある。グループ単位の表彰なので、グループ内で燃費効果を上げようと切磋琢磨しあう姿

も見られるという。

様々な取り組みを進めてきた笠間社長は「基本的に忠実に、を重視していく。安全こそが品質」と強調する。新年度の方針も「安全と安心を中心とした品質の向上」としている。「まずは品質の維持が大切。それが向上の一歩であり、基本に忠実なことが大事だ」。飲料や食品、医薬品などのライフルインを支える商品を運んでいる同社。温度管理の厳しい業界だけに、保有車両のほとんどが冷蔵・冷凍車だ。さらに昨年からは初めて加温車も導入した。常温での輸送が求められる商品をしっかりとした温度管理をして冬に運ぶため、試験的に導入したという。

千葉由之



「基本的に忠実に」 笠間社長